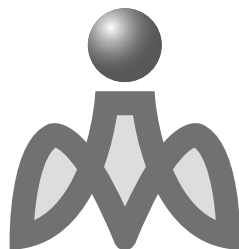


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和4年10月～12月実績〕
〔令和5年1月～3月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第3四半期 令和4年10月～12月期 「調査時点：令和4年11月15日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ 業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

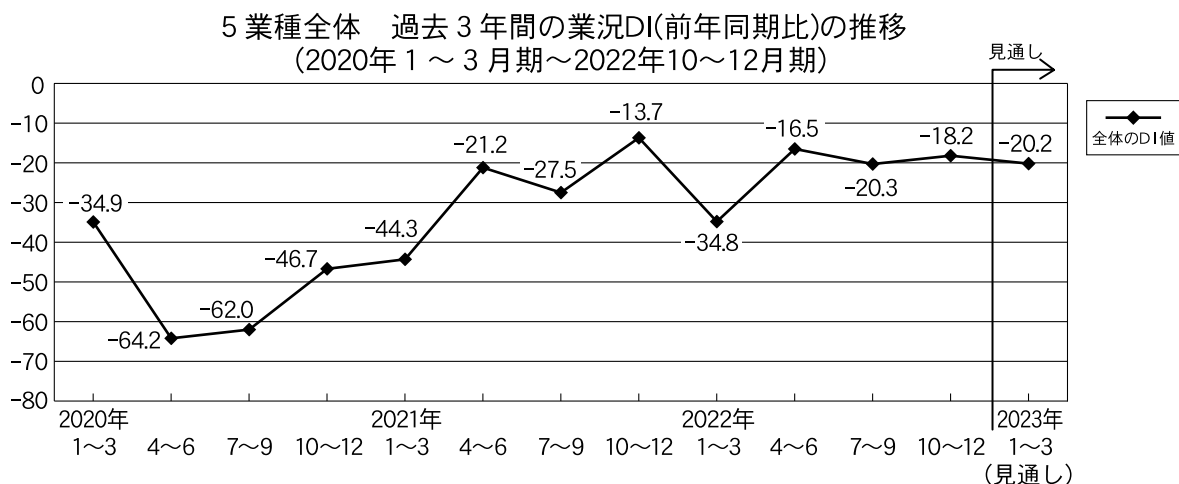
本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

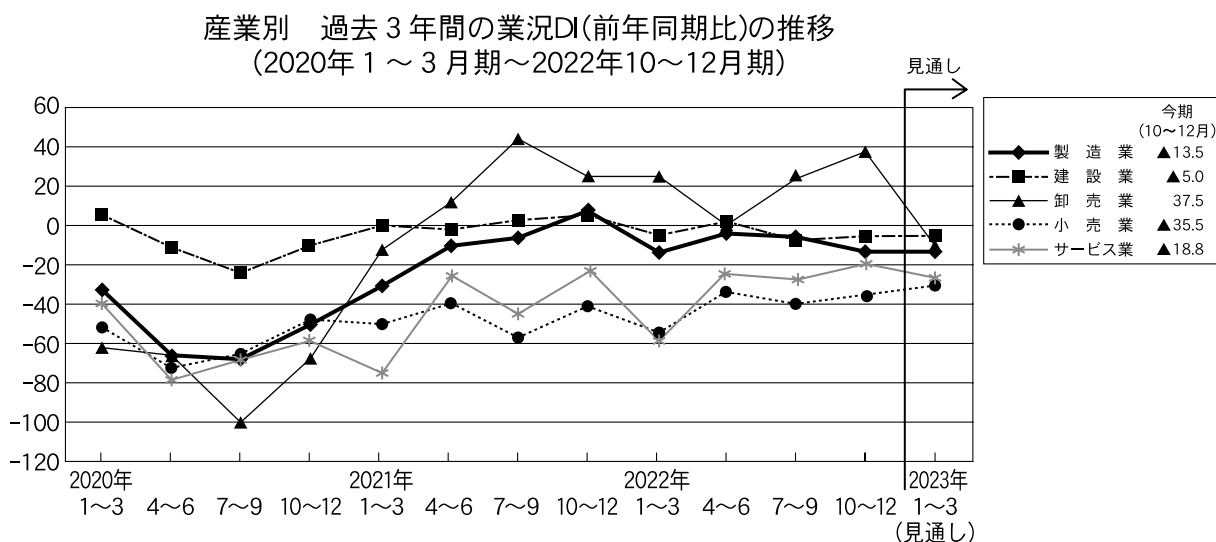
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲18.2と前期比で2.1ポイント僅かに改善している。来期については▲20.2と僅かに悪化の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

卸売業を除き全産業の業況判断は前期より悪化している。製造業が▲13.5で前期比▲8.1ポイント、建設業が▲5.0で前期比▲0.1ポイント、卸売業が37.5で前期比+12.5ポイント、小売業が▲35.5で+4.3ポイント、サービス業が▲18.8で+8.4ポイントあった。

来期は、小売業が改善見通し、他の製造業、建設業、卸売業、サービス業は悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの118企業を含めた283サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

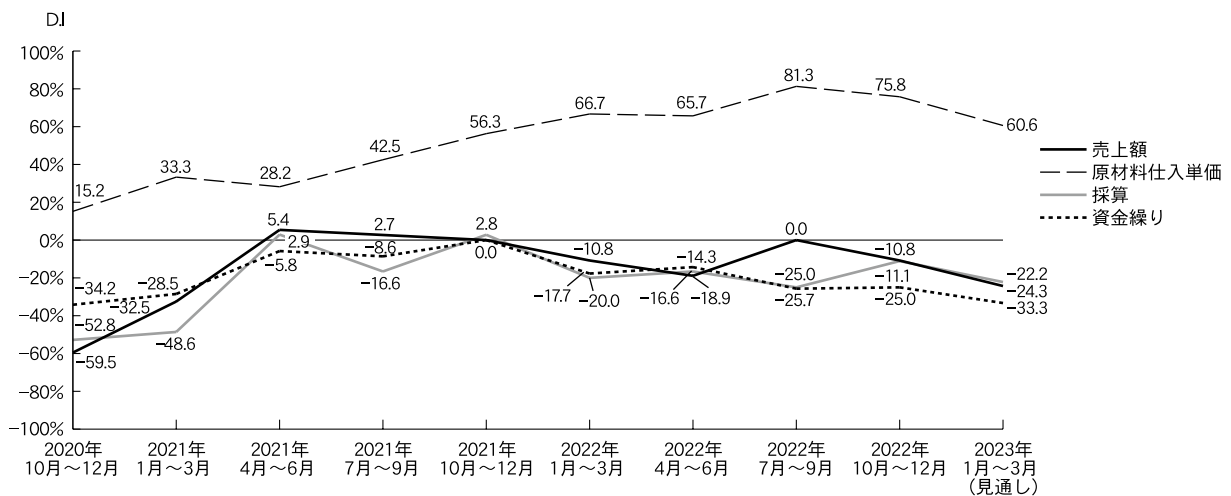
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲10.8と前期比で10.8ポイント悪化し、来期はさらに▲24.3へと悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期75.8と前期比で5.5ポイント下降（改善）し、来期はさらに60.6へと下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲25.0で前期と変化なく、来期は▲33.3へ悪化の見通し。資金繰りD Iは、今期▲11.1と前期比で14.6ポイント改善したが、来期は▲22.2に悪化の見通しである。

今期は売上額D Iが悪化、採算D Iが変化なし、原材料仕入単価D I・資金繰りD Iは改善であった。来期は原材料仕入単価D Iのみが改善、他のD Iは悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

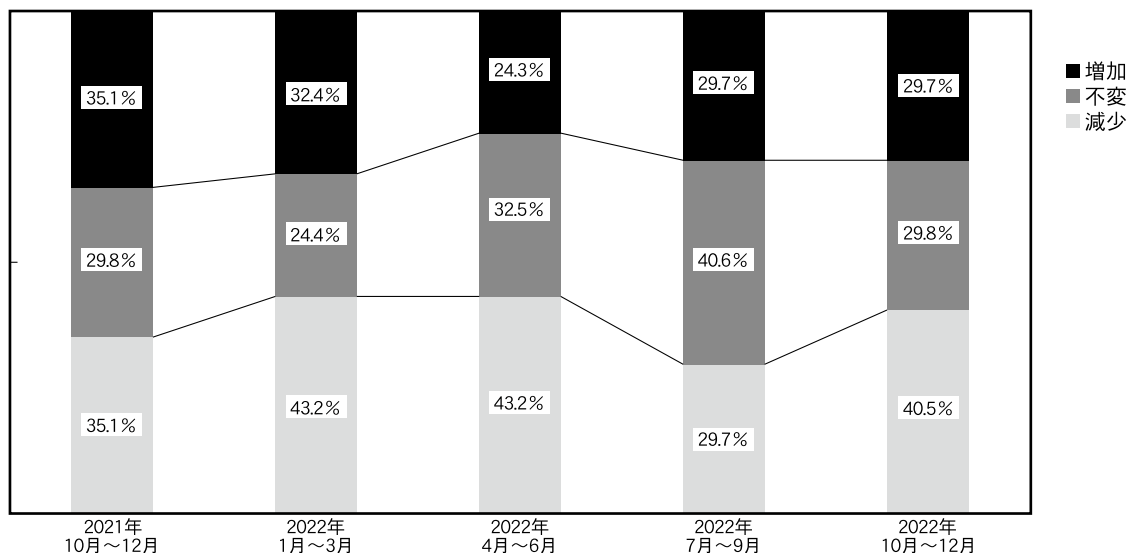
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、29.7%（11社）と前期比変化なし。

「不変」は29.8%（11社）と減少（前期比▲4社）、

「減少」は40.5%（15社）と増加（前期比+4社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数36社））

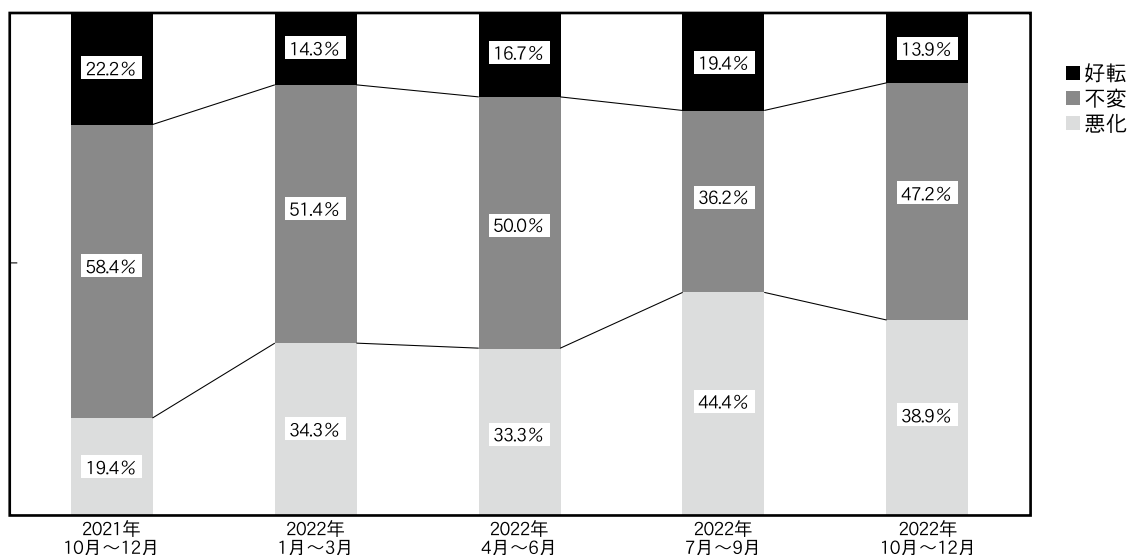
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、13.9%（5社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は47.2%（17社）と増加（前期比+4社）、

「悪化」は38.9%（14社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

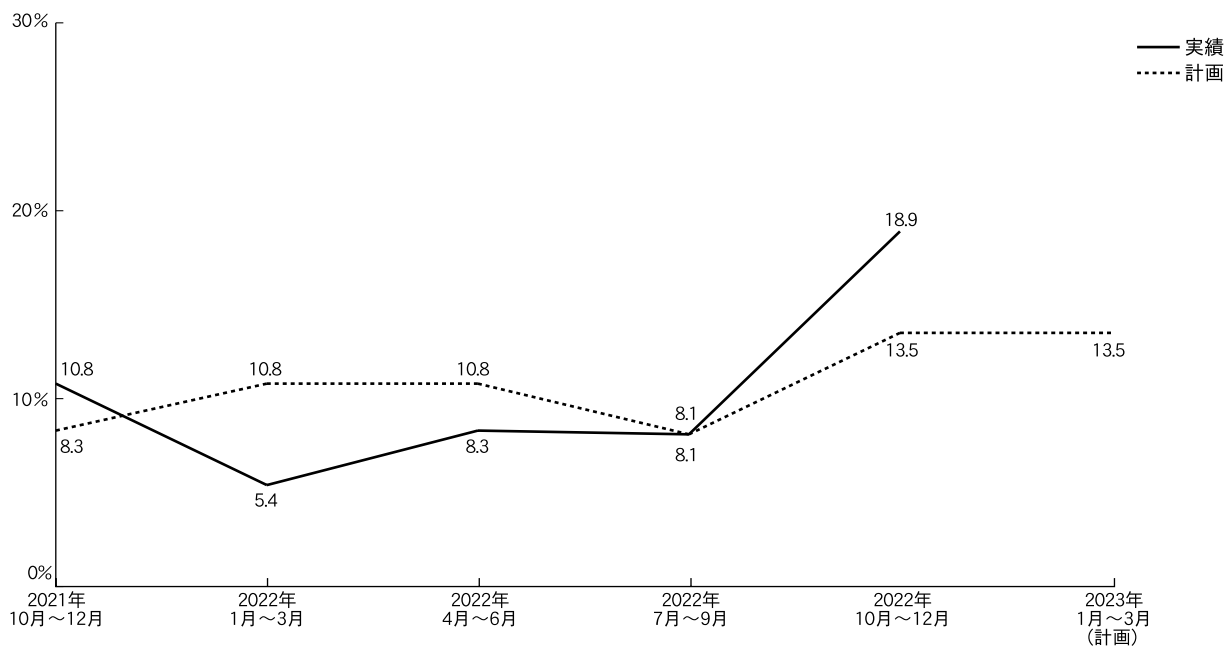


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.9%（7社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「生産設備」が2件、「付帯施設」が1件であった。

来期の計画については、13.5%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が4件、「車両・運搬具」が2件、「その他」が1件である。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数35社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

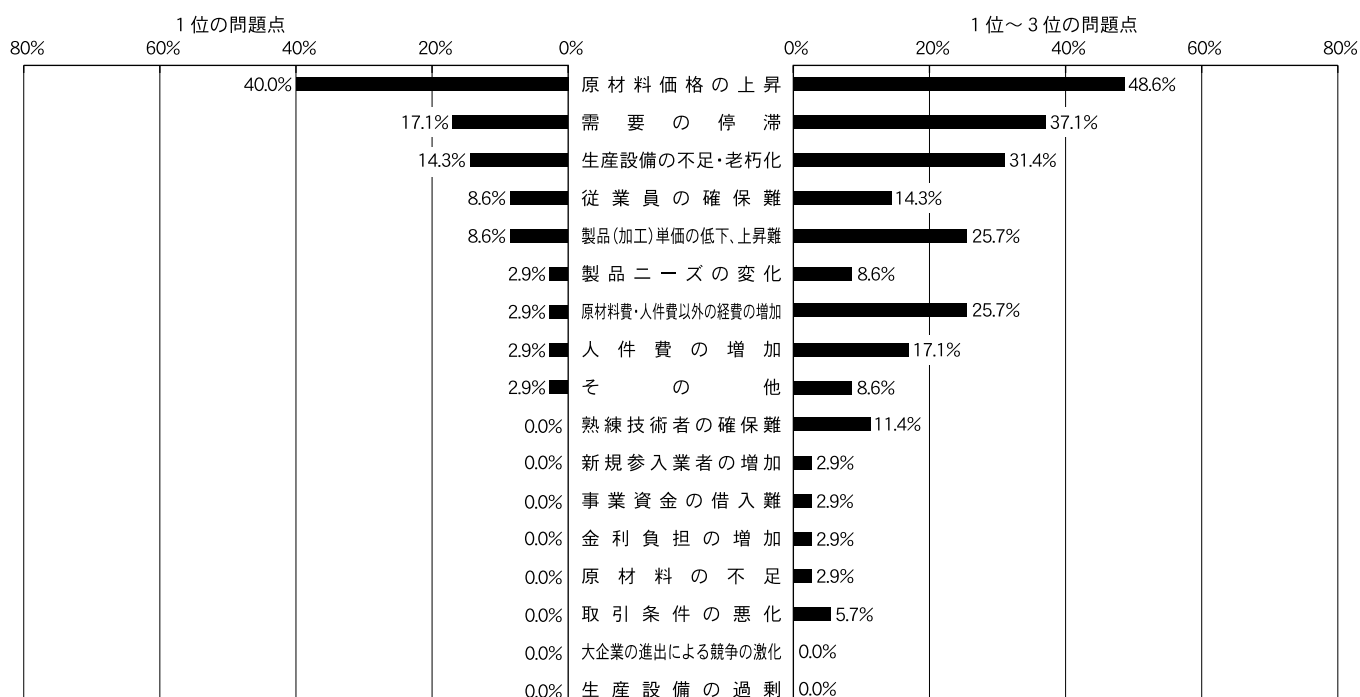
1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の40.0%（14社）であり、2番目は「需要の停滞」の17.1%（6社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の48.6%（17社）であり、2番目に多かったのは「需要の停滞」の37.1%（13社）であった。

「需要の停滞」は、前回調査の「1位」集計では3番目10.8%、「1位～3位」集計では5番目21.6%である。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	4	10.8
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.2
電気機械器具製造業	3	8.1
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

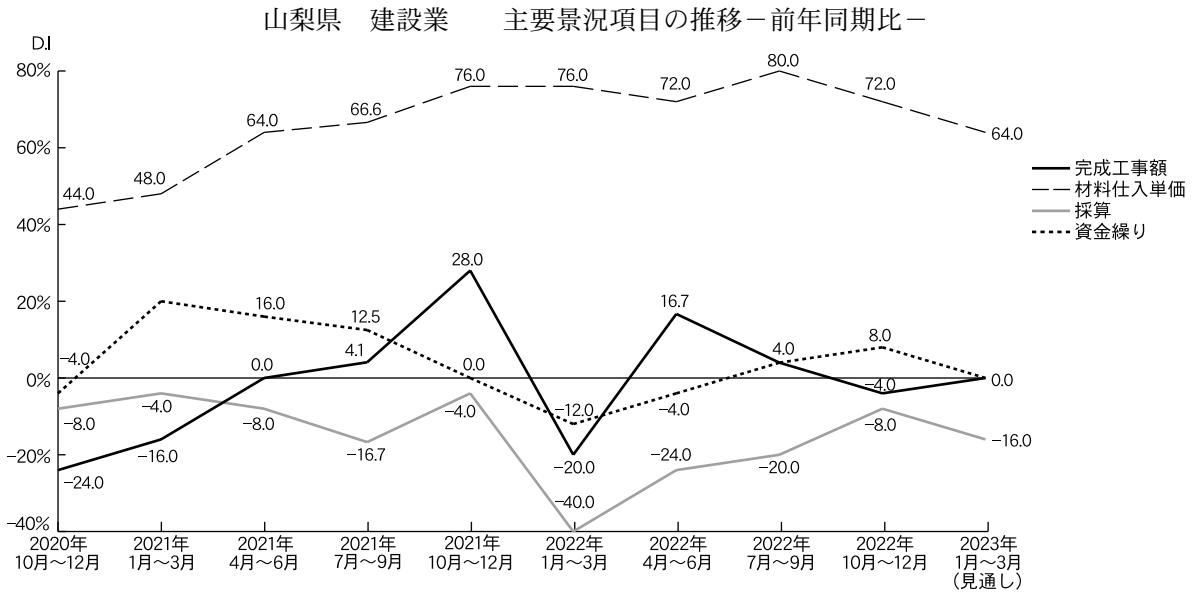
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	18	48.7	15	40.6
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	7	18.9	11	29.7
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額DIは、今期8.0と前期比で4.0ポイント改善したが、来期は0.0に悪化の見通し。材料仕入単価DIは、今期72.0と前期比で8.0ポイントの下降（改善）、来期も64.0に下降（改善）の見通しである。採算DIは、今期▲8.0と前期比12.0ポイント改善したが、来期は▲16.0に悪化の見通し。資金繰りDIは、今期▲4.0と前期比8.0ポイント悪化したが、来期は0.0に改善の見通しである。

今期は資金繰りDIのみが悪化し、他のDIは改善を示した。来期は材料仕入単価DI・資金繰りDIが改善の見通しで、関税工事額DI・採算DIは悪化の見通しである。



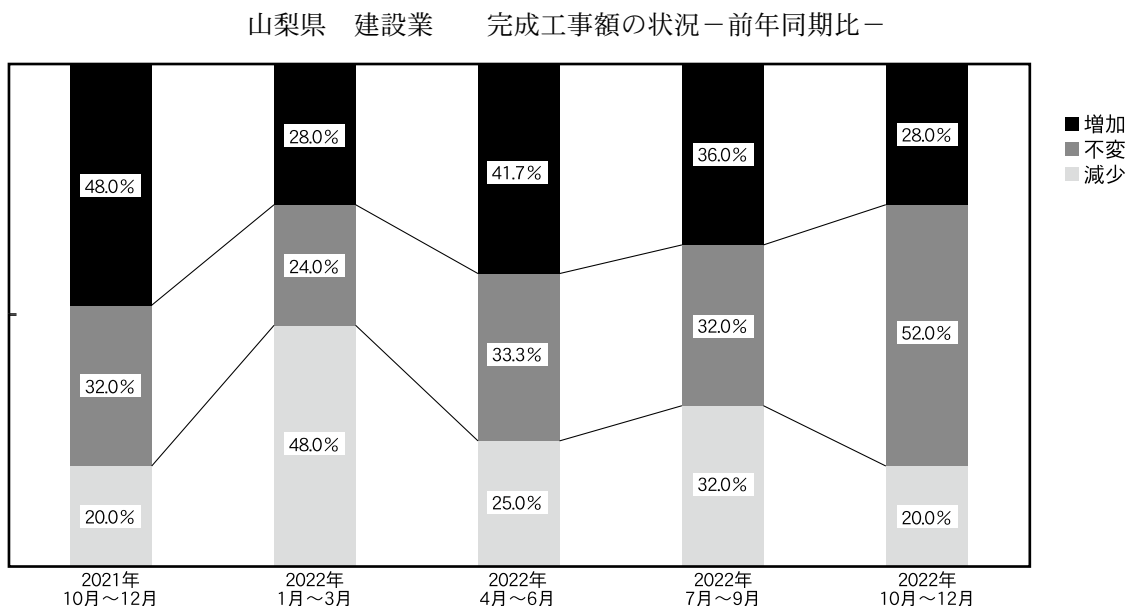
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額DIの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、28.0%（7社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は52.0%（13社）と増加（前期比+5社）、

「減少」は20.0%（5社）と減少（前期比▲3社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

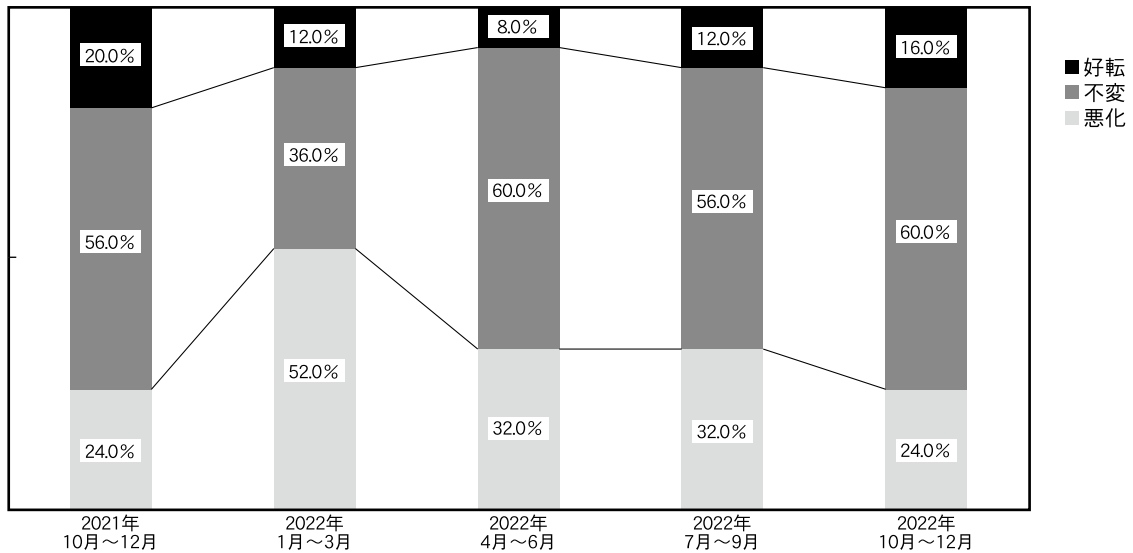
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、16.0%（4社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は60.0%（15社）と増加（前期比+1社）、

「悪化」は24.0%（6社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

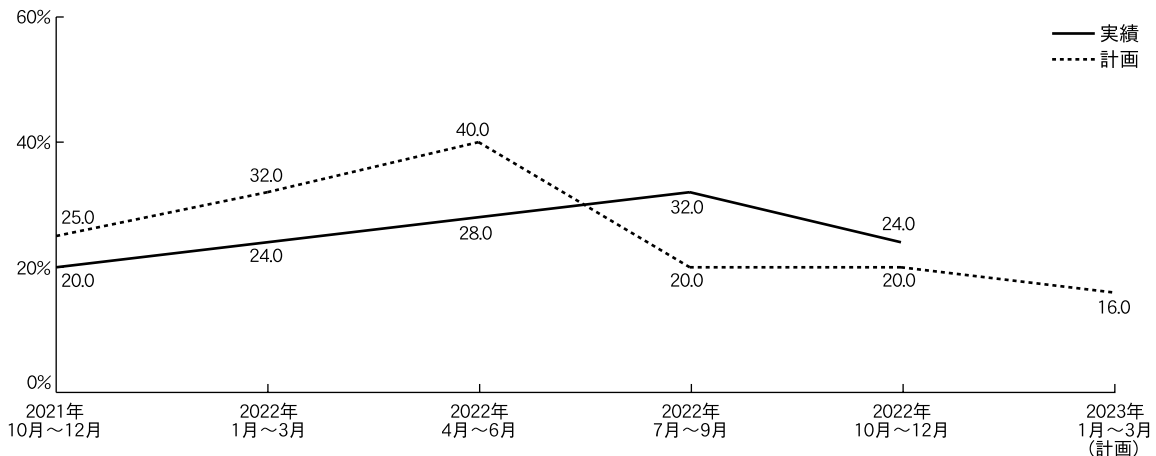


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は24.0%（6社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「建設機械」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、16.0%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「土地」「建物」「建設機械」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数25社）

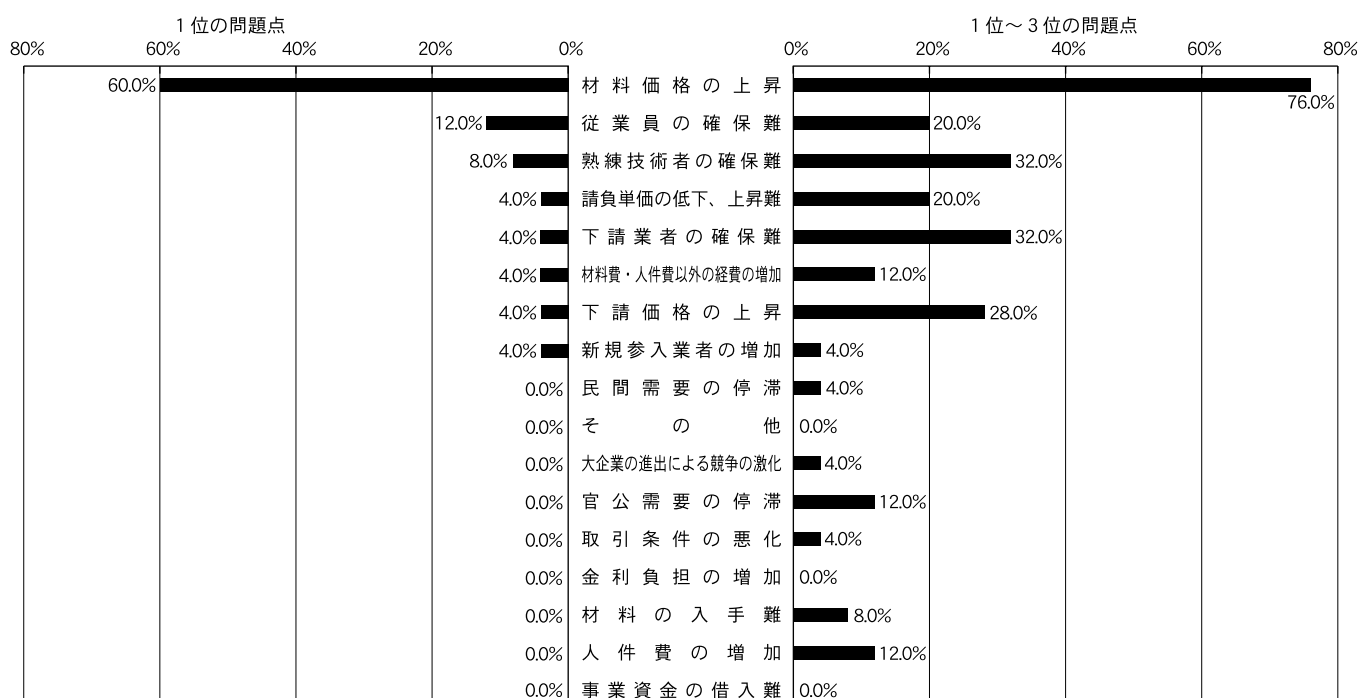
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

前回調査に引き続き「材料価格の上昇」が抜きん出て挙げられており60.0%（15社）であった。2番目に多かったのは「従業員の確保難」の12.0%（3社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらでも「材料価格の上昇」が抜きん出て挙げられており76.0%（19社）であった。2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」「下請業者の確保難」の32.0%（8社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	3	12.0
設備工事業	3	12.0
合計	25	100.0

従業員規模別

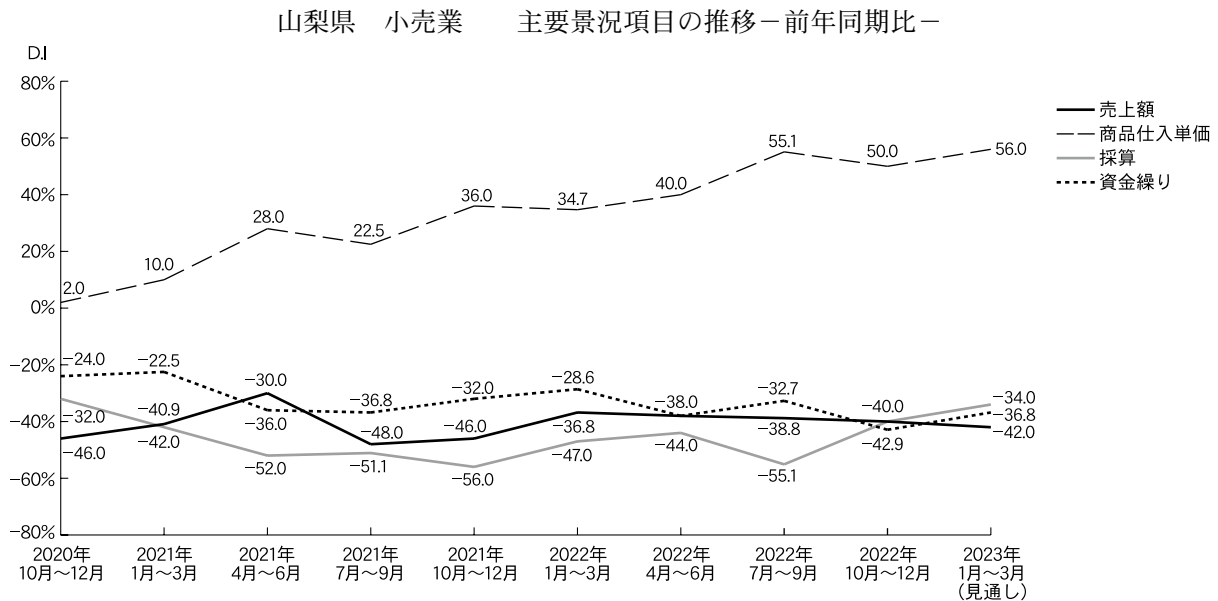
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	6	24.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲40.0と前期比で1.2ポイント僅かに悪化し、来期も▲42.0へ悪化の見通し。商品仕入単価D Iは、今期50.0と前期比で5.1ポイント下降（改善）したが、来期は56.0へと上昇（悪化）の見通し。採算D Iは、今期▲40.0と前期比で15.1ポイント改善し、来期も▲34.0へとさらに改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲42.9と前期比で10.2ポイント悪化した。来期は▲36.8へと改善の見通しである。

今期は商品仕入単価D I・採算D Iが改善、売上額D I・資金繰りD Iが悪化している。来期は採算D I・資金繰りD Iが改善の見通しで、売上額D I・商品仕入単価D Iは悪化の見通しである。



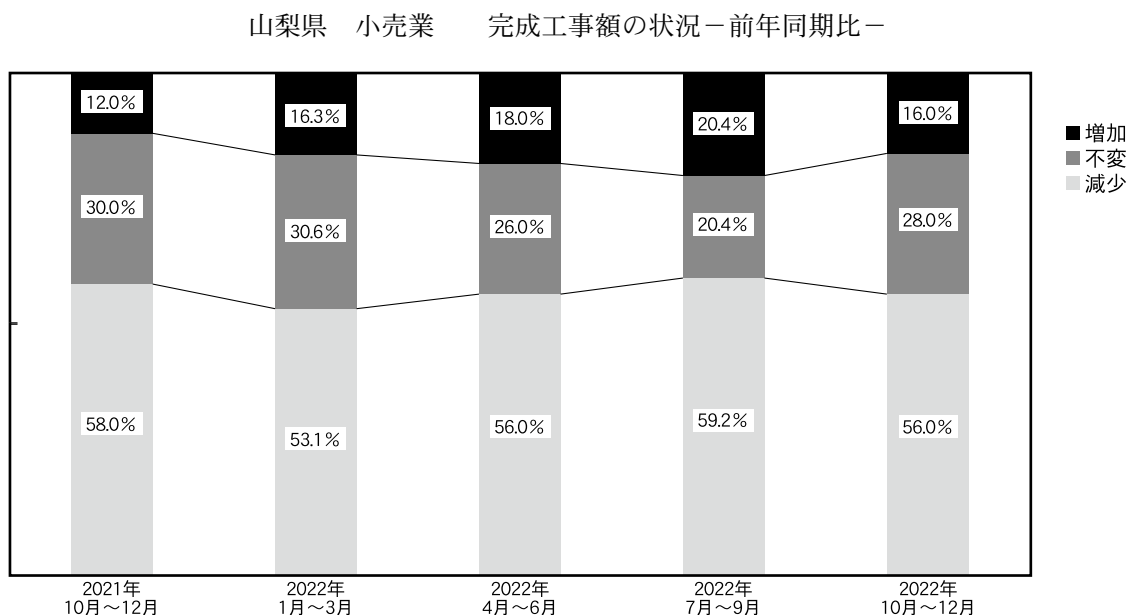
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社（前回49社）））

「増加」と答えた企業の割合は、16.0%（8社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は28.0%（14社）と増加（前期比+4社）、

「減少」は56.0%（28社）と減少（前期比▲1社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社（前回49社））

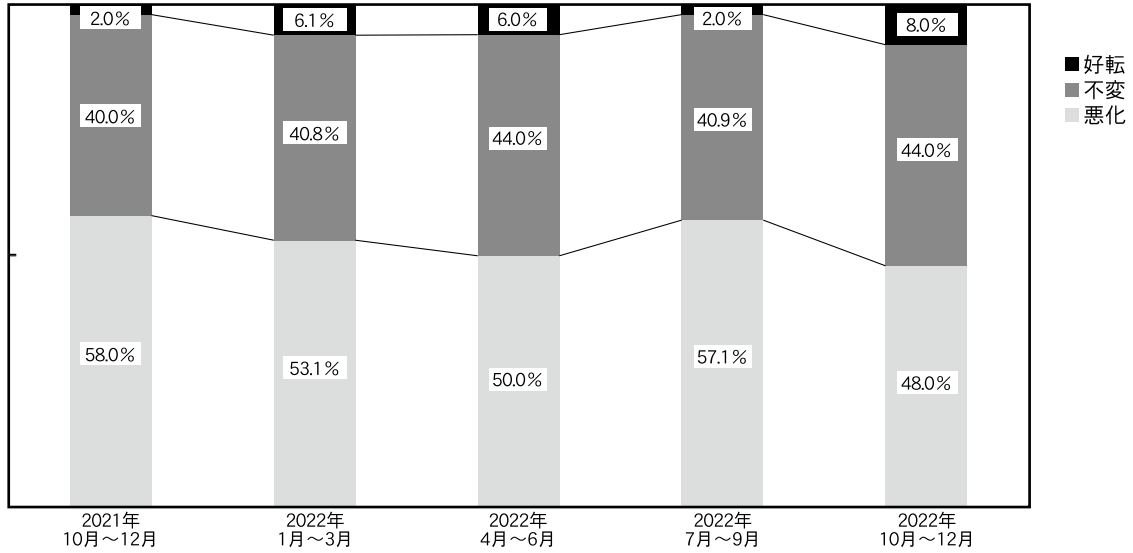
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（4社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は44.0%（22社）と増加（前期比+2社）、

「悪化」は48.0%（24社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

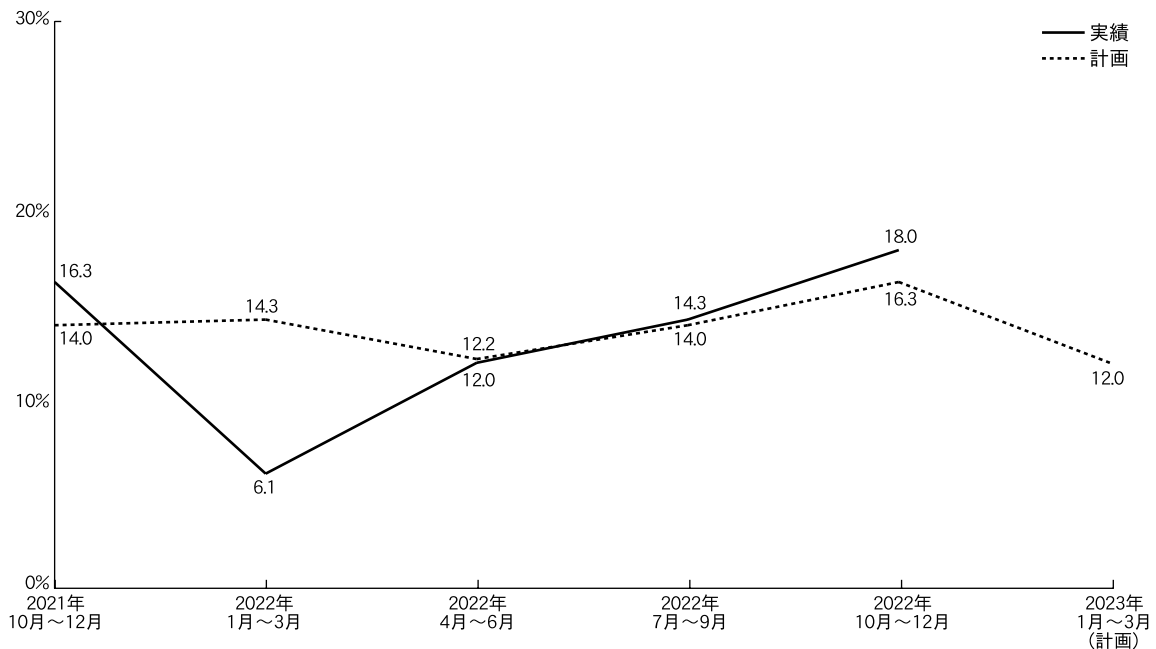


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.0%（9社）であった。その設備投資の内容は、「付帯施設」が4件、「その他」が3件、「販売設備」が2件、「OA機器」が1件であった。

来期の計画については、12.0%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「店舗」「販売設備」「車両・運搬具」が2件ずつ、「土地」「付帯施設」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数48社）

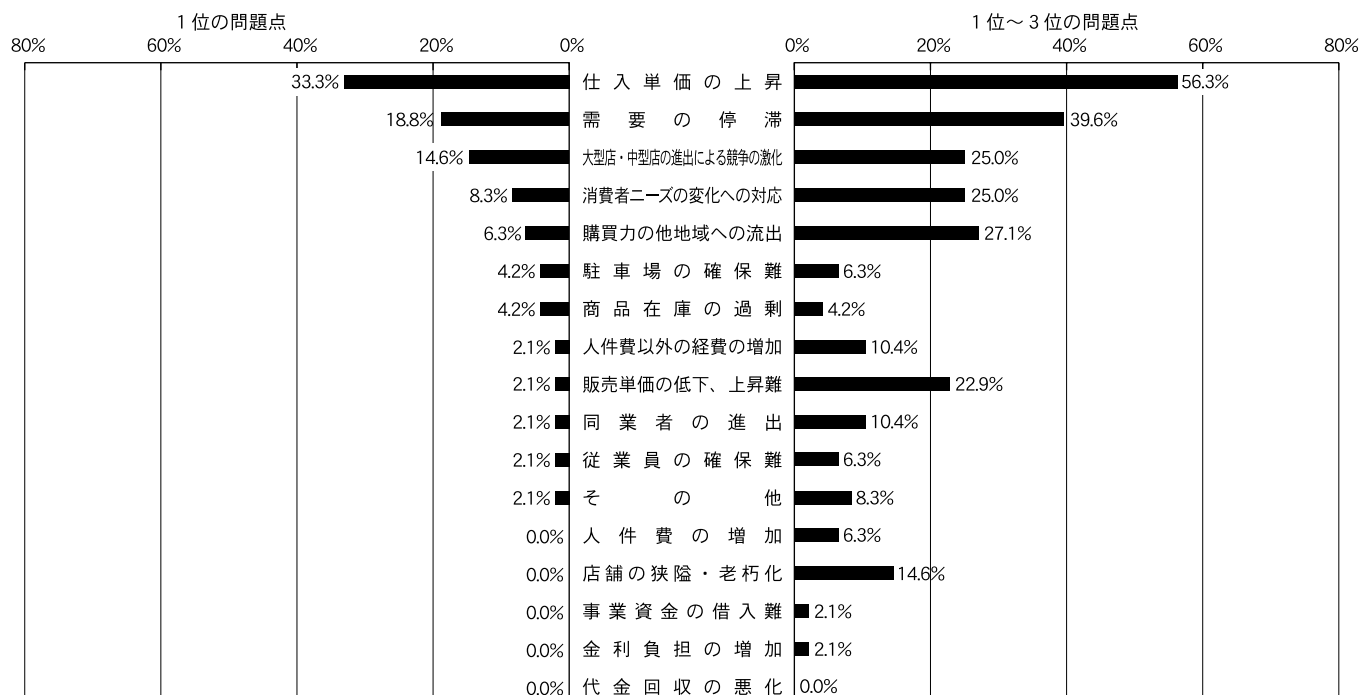
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは「仕入単価の上昇」の33.3%（16社）であり、2番目は「需要の停滞」の18.8%（9社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の56.3%（27社）であり、2番目は「需要の停滞」の39.6%（19社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	9	18.0
飲食物品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	17	34.0
合計	50	100.0

従業員規模別

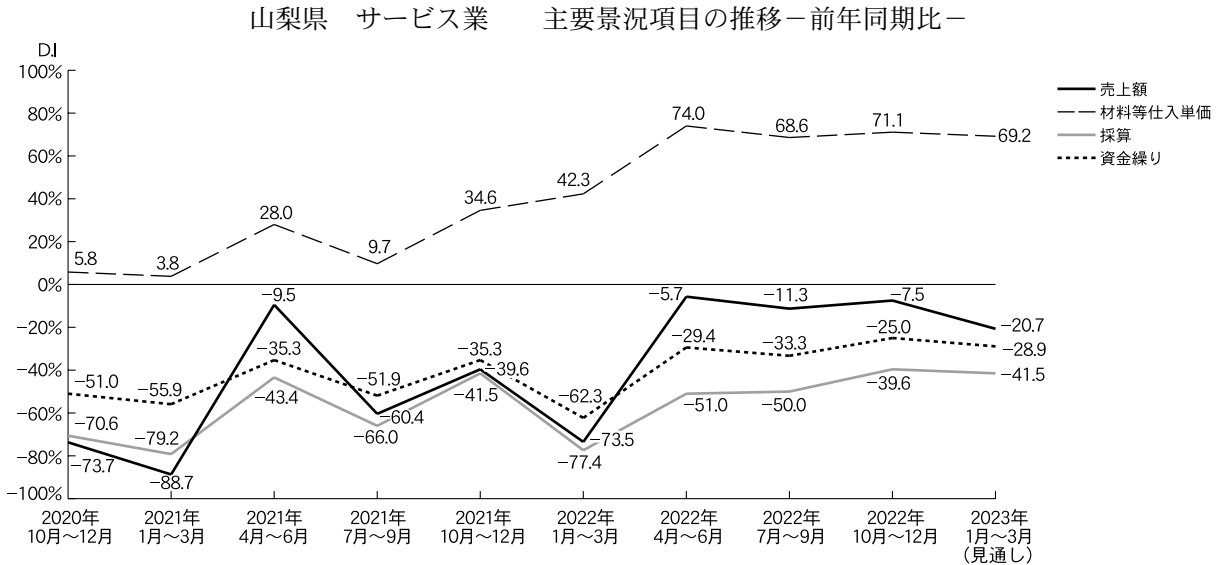
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	92.0	38	76.0
3人～5人以下	4	8.0	12	24.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲7.5と前期比で3.8ポイント改善したが、来期は▲20.7に悪化の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期71.1と前期比で2.5ポイント上昇（悪化）したが、来期は69.2へと僅かに下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲39.6と前期比で10.4ポイント改善したが、来期は▲41.5に僅かに悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期▲25.0と前期比で8.3ポイント改善したが、来期は▲28.9に悪化の見通しである。

今期は材料等仕入単価D Iは悪化したものの、他のD Iは改善を示したが、来期は材料等仕入単価D Iのみが改善の見通しで、それ以外のD Iは全て悪化の見通しである。



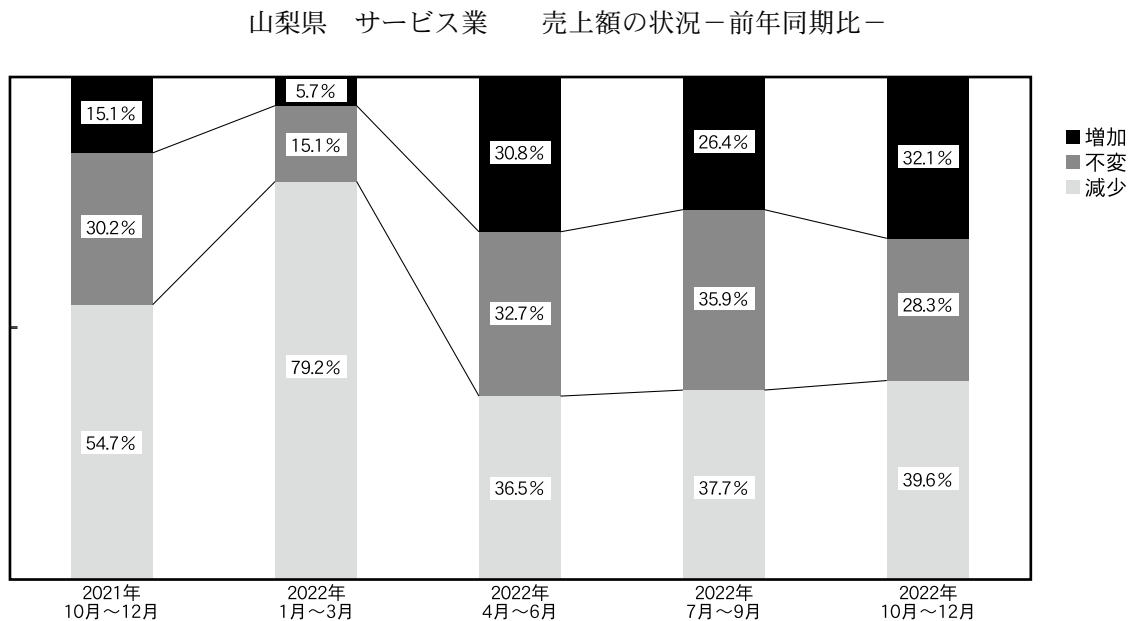
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、32.1%（17社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は28.3%（15社）と減少（前期比▲4社）、

「減少」は39.6%（21社）と増加（前期比+1社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数53社（前回52社））

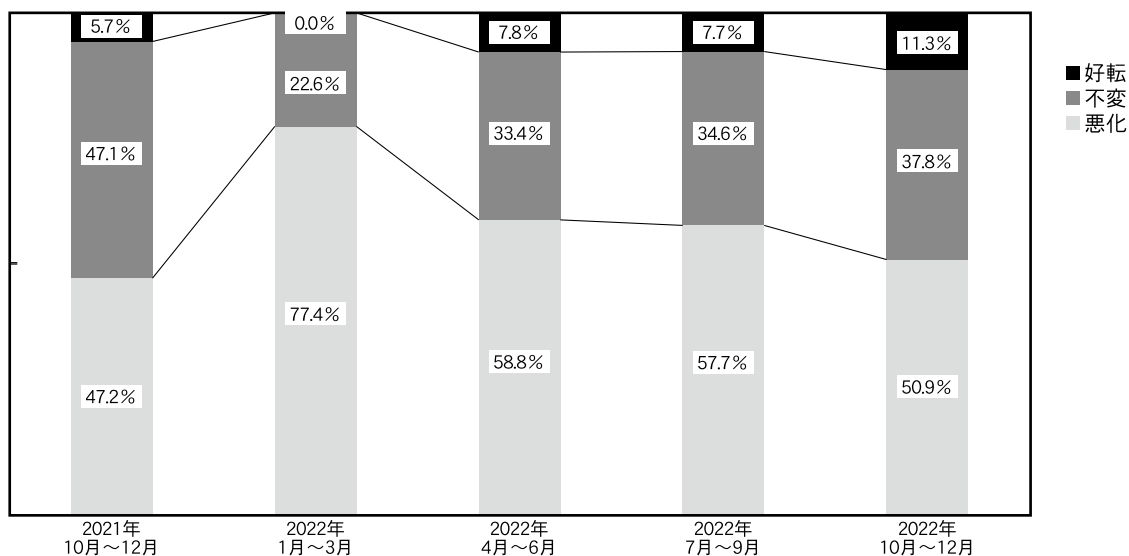
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、11.3（6社）と増加（前期比+2社）している。

「不変」は37.8%（20社）と増加（前期比+2社）、

「悪化」は50.9%（27社）と減少（前期比▲3社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

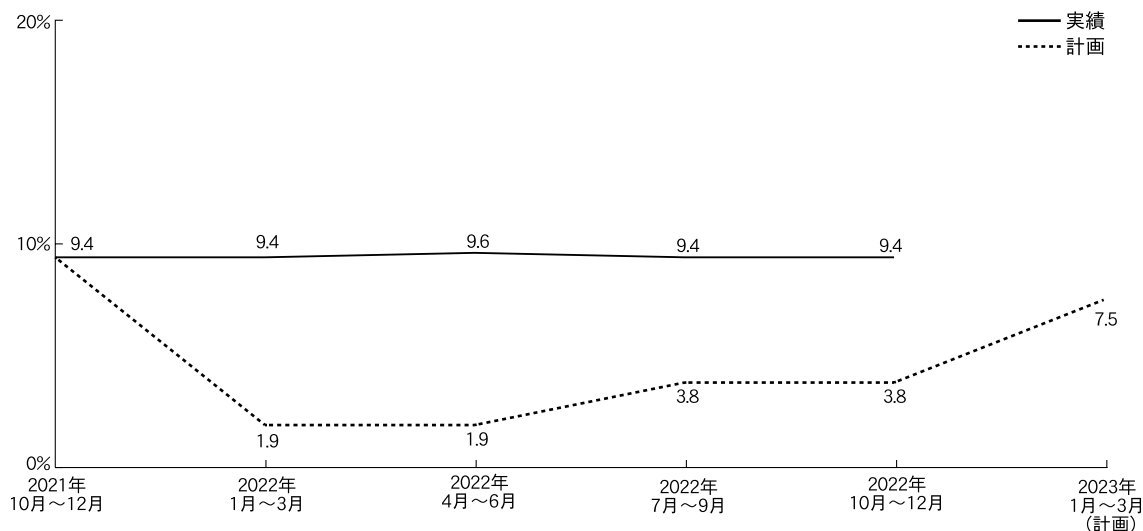


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は9.4%（5社）であった。その設備投資の内容は、「付帯施設」が3件、「サービス」が2件、「その他」が1件であった。

来期の計画については、7.5%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「付帯施設」「その他」が2件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数48社）

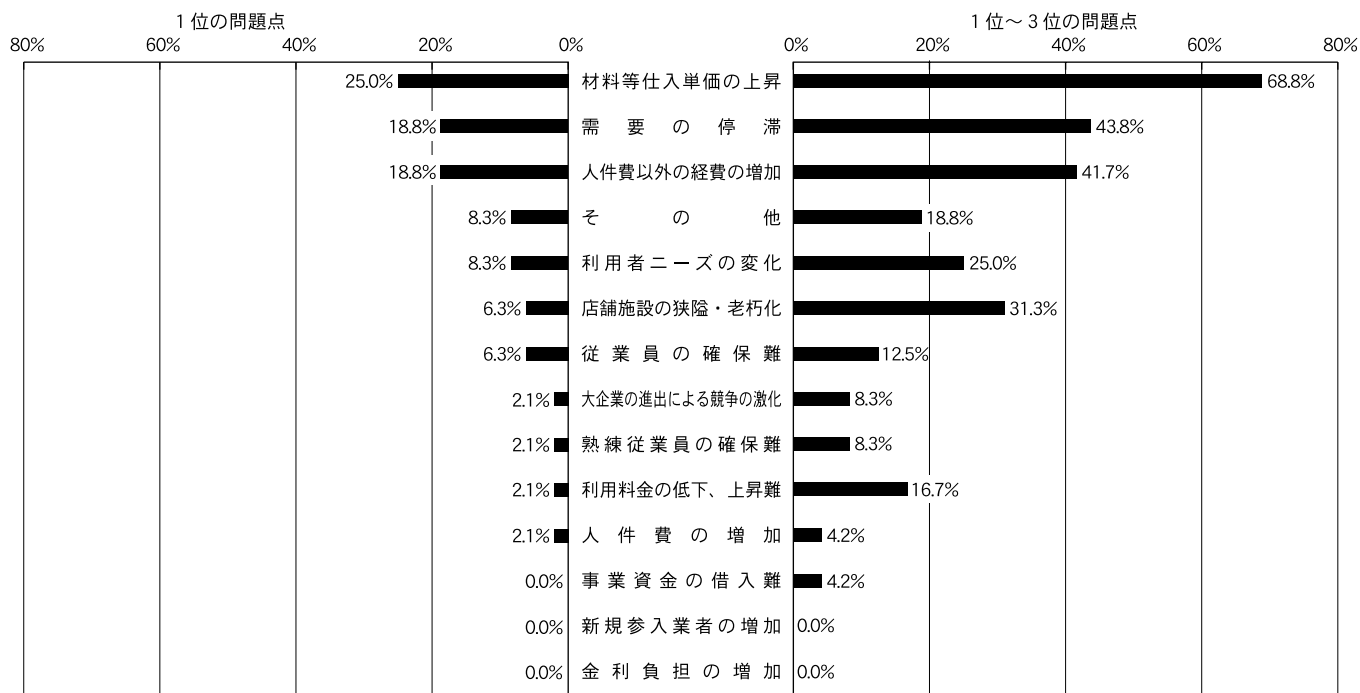
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の25.0%（12社）であり、2番目は「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」の18.8%（9社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらは1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の68.8%（33社）であり、2番目は「需要の停滞」の43.8%（21社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.6
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	86.8	40	75.5
3人～5人以下	7	13.2	12	22.6
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0